

善意に拍手

西森 律 (後免町)

今から書くことは、某小学校卒業式の謝恩会の席上、PTA会長さんがなさったごあいさつの一こまです。

某月某日、会長さんが所用を終え、高松方面から帰る途中、池田付近で一人の青年が手を上げました。話を聞くとその青年は、広島からヒッチハイクで四国一周をしているのだとのこと、帰り道なので早速その青年を同乗させました。行き先を聞くと桂浜に宿をとるということでしたが、日暮れもあり、会長さんは空室があるかどうか心配で、その宿に電話をしました。やはり空室がないという返事だったので、そのまま南国市の会

長さん宅へ連れて行き、青年を開んで家族みんなで夕食をとり、泊まらせてあげたそうです。

その青年は、今春高校を卒業、就職が決まっております、ヒッチハイクで四国一周を計画し、それをやり遂げようとしたようです。ちょうど会長さん宅にも同じくらいのお子さんがおられます。夕食をとりながらみんなでこの青年と語りとても話が合ったと喜んでおられました。

翌日、会長さんはその青年を桂浜まで送り届け、励まして帰られたそうです。

会長さんは、「謝恩会にはふさわしくないかも知れませんが」と前置きされて、淡々と以上のこ

とを話されました。

席が私の前でしたので、話が終わって座られたとき、私が「その後青年から連絡がありましたか」と聞くと、「ちゃんとお礼の電話がありました」と言われ、私は本当によかったと思いました。

さらに、「不安はありませんでしたか」とお聞きしますと、「とても礼儀正しく、しつかりした青年でした」と答えられました。

私がこのことをなぜ書くかと思ったのでしようか。一人の青年を車に乗せ、自分の家に連れて行き、食事をし泊らせ、翌日目的地に連れて行ったというただそれだけの事実と言えはそれまでもわかりません。しかし、このことを私に置き換えてみたとき、見ず知らずの青年にここまでできたかどうかとても疑問です。恐らく私にはできなかったでしょう。

現在では、「隣は何をする人ぞ」式で、できるだけ他人のこととは我関せずの風潮であり、自分のことだけで手いっぱいです。まったく見ず知らずの青年で、しか

も通りすがりの道となると、誰もが見過ごすと思います。

私には、この善意に対して青年からお礼の電話があったことが大きな喜びでした。今日は人の善意を踏みしめるようなことが多々ありますが、きっとこの青年は人生の目的に向かってがんばり、会長さんより受けた善意を忘れずに、人の善意に感謝し、自分自身も善行を積んでいくと思います。

あわせて、会長さんのとられた行動のすばらしさに心より拍手を送ります。



ご家庭で話し合って答えてください。答えはこの広報に出ています。

■もんだい・南国市〇〇会館の新築工事が完了し、四月十八日、盛大に落成式が行われました。

■しめきり・5月15日

■あて先・〒783 南国市大埔甲二三〇一 南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者のなかから抽選で五人に図書券を進呈。

第181回当選者発表(敬称略)

(応募総数26通)

■答え・〇〇〇〇会

■当選者・五人

天田健久(大埔)

大崎通子(大埔)

平田朝美(大埔)

松野下幸治(大埔)

山岡久通(里改田)



「ほのほの広場」に、あなたの身の回りのほのほとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先・〒783 南国市大埔甲三〇一 南国市役所内広報委員会まで。